

第2回群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会 次 第

日時：令和2年4月15日（水）18時30分～

場所：県庁7階 審議会室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- （1）新型コロナウイルス感染症の発生状況等について
- （2）病院間調整センターについて
- （3）今後の医療提供体制等について

4 意見交換

5 その他

6 閉 会

群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会

【構成員】

No.	氏名	団体名・職名	備考
1	須藤 英仁	群馬県医師会長	座長
2	川島 崇	群馬県医師会副会長	
3	村山 利之	群馬県歯科医師会会長	
4	武智 洋一郎	群馬県薬剤師会長	
5	西松 輝高	群馬県病院協会会長	
6	荻原 京子	群馬県看護協会会長	
7	田村 遵一	群馬大学医学部附属病院長	
8	村上 正巳	群馬大学医学部附属病院特命副病院長	
9	中野 実	前橋赤十字病院長	
10	正田 吉一	群馬県市長会事務局長	
11	梅村 透	群馬県町村会事務局長	
12	関 俊夫	群馬県消防長会長（前橋市消防局長）	
13	栗原 修一	前橋市保健所長	
14	後藤 裕一郎	高崎市保健所長	
15	武藤 幸夫	群馬県健康福祉部長	歌代代理
16	矢沢 和人	太田保健福祉事務所長	
17	猿木 信裕	衛生環境研究所長	

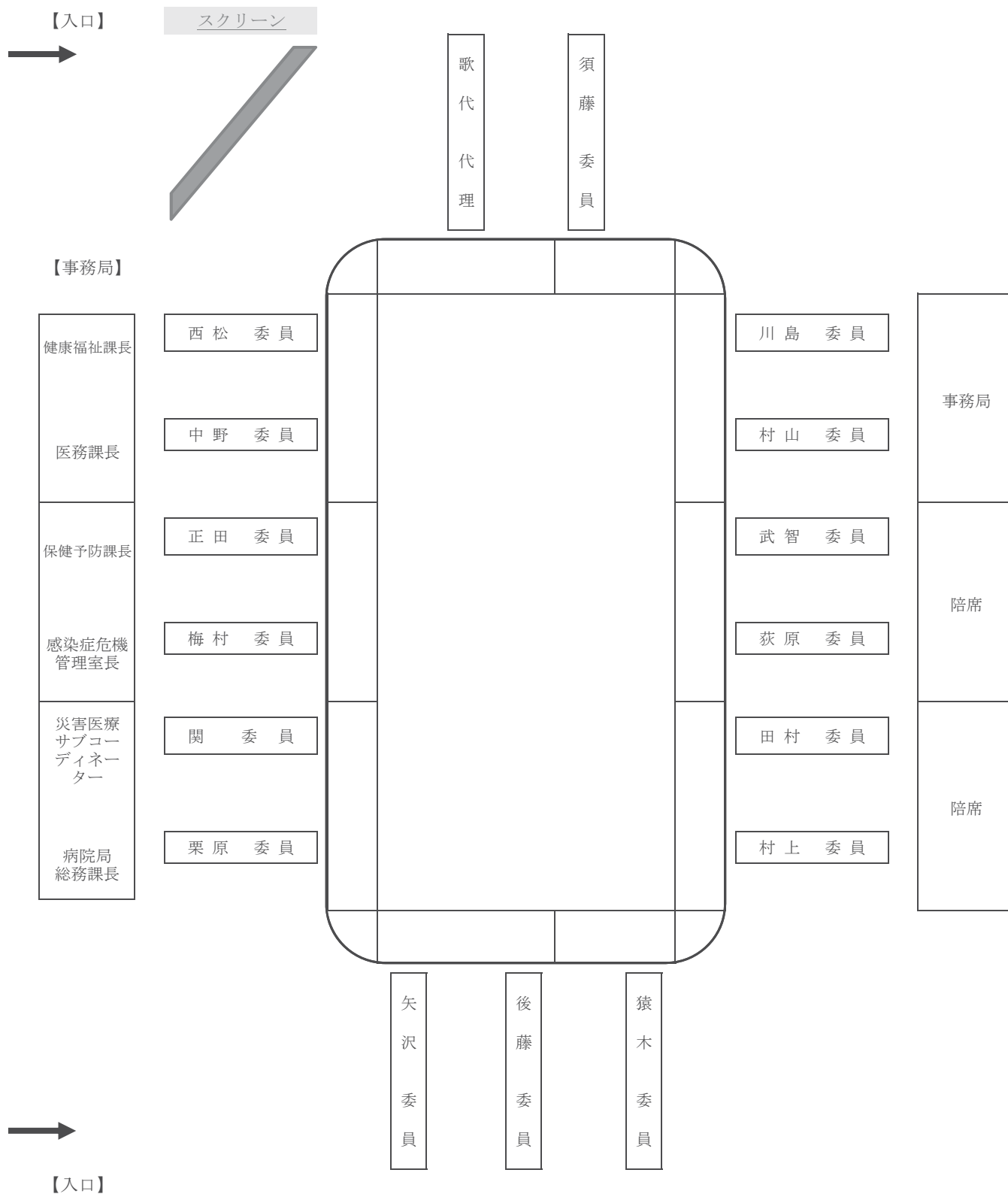
【事務局等】

No.	氏名	所属名・職名	備考
1	歌代 昌文	健康福祉部副部長 （感染症危機管理担当）	
2	中島 高志	健康福祉部健康福祉課長	
3	江原 昭二	健康福祉部医務課長	
4	中村 多美子	健康福祉部保健予防課長	
5	佐藤 貴彦	健康福祉部保健予防課 感染症危機管理室長	
6	横山 秀行	健康福祉部保健予防課患者受入調整係長	
7	内田 信也	病院局総務課長	
8	中村 光伸	病院間調整センターコーディネーター	

群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会 座席表

○日時：令和2年4月15日（水）午後6時30分～

○場所：県庁7階審議会室



1 県内における新型コロナウイルス感染症発生状況（令和2年4月14日現在）

県内合計 96人(うち亡くなった方4人、感染症病床から退院10人)

(1) 木崎あおぞら保育園（太田市）関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	1 例目	R2.3.7	40代	太田市	女性	保育士	
2	2 例目	R2.3.12	60代	太田市	女性	パート従業員	
3	7 例目	R2.3.17	70代	太田市	男性	無職	

※健康観察は3/16で終了。3/17状況確認済。

(2) ましも内科・胃腸科（大泉町）関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	3 例目	R2.3.12	60代	太田市	女性	看護師	
2	4 例目	R2.3.14	70代	大泉町	男性	医師	
3	5 例目	R2.3.14	70代	大泉町	女性	無職	
4	6 例目	R2.3.16	50代	大泉町	女性	事務職員	
5	8 例目	R2.3.17	70代	大泉町	男性	運転手	
6	9 例目	R2.3.17	50代	太田市	女性	事務職員	
7	10 例目	R2.3.17	50代	大泉町	女性	無職	
8	11 例目	R2.3.20	60代	太田市	男性	会社員	

※健康観察は4/1で終了。4/2状況確認済。

(3) 公立館林厚生病院（館林市）関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	12 例目	R2.3.24	60代	前橋市	男性	医師	
2	14 例目	R2.3.24	40代	館林市	女性	看護師	
3	15 例目	R2.3.28	20代	栃木県	女性	看護師	

※健康観察は4/8で終了。4/9状況確認済。

(4) 日本光電（富岡市）関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	17 例目	R2.3.28	50代	富岡市	女性	会社員	
2	19 例目	R2.3.31	50代	甘楽町	女性	会社員	
3	21 例目	R2.4.2	60代	富岡市	女性	会社員	
4	23 例目	R2.4.3	30代	富岡市	男性	会社員	
5	25 例目	R2.4.3	40代	高崎市	男性	会社員	
6	26 例目	R2.4.4	40代	安中市	男性	会社員	

(5) プラムの森（福祉事業所）関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	18 例目	R2.3.28	50代	玉村町	男性	福祉事業従事者	
2	22 例目	R2.4.3	30代	玉村町	男性	福祉事業従事者	
3	27 例目	R2.4.7	60代	玉村町	女性	福祉事業従事者	
4	30 例目	R2.4.9	50代	玉村町	男性	福祉事業従事者	

(6) 藤和の苑(有料老人ホーム)関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	3 1 例目	R2. 4. 9	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
2	3 2 例目	R2. 4. 9	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
3	3 6 例目	R2. 4. 10	9 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
4	3 7 例目	R2. 4. 10	7 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
5	3 8 例目	R2. 4. 10	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
6	3 9 例目	R2. 4. 10	5 0 代	伊勢崎市	女性	職員	
7	4 0 例目	R2. 4. 10	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
8	4 1 例目	R2. 4. 10	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
9	4 7 例目	R2. 4. 11	7 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
10	4 8 例目	R2. 4. 11	7 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
11	4 9 例目	R2. 4. 11	9 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
12	5 0 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
13	5 1 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
14	5 2 例目	R2. 4. 11	9 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
15	5 3 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
16	5 4 例目	R2. 4. 11	5 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
17	5 5 例目	R2. 4. 11	9 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
18	5 6 例目	R2. 4. 11	9 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
19	5 7 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
20	5 8 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	(調査中)	施設入所者	
21	5 9 例目	R2. 4. 11	6 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
22	6 0 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
23	6 1 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
24	6 2 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
25	6 3 例目	R2. 4. 11	7 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
26	6 4 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
27	6 5 例目	R2. 4. 11	9 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
28	6 6 例目	R2. 4. 11	7 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
29	6 7 例目	R2. 4. 11	5 0 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
30	6 8 例目	R2. 4. 11	8 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
31	6 9 例目	R2. 4. 11	7 0 代	伊勢崎市	女性	施設入所者	
32	7 0 例目	R2. 4. 11	5 0 代	(調査中)	女性	職員	
33	7 1 例目	R2. 4. 11	6 0 代	(調査中)	女性	職員	
34	7 2 例目	R2. 4. 11	3 0 代	(調査中)	女性	職員	
35	7 3 例目	R2. 4. 11	2 0 代	(調査中)	女性	職員	
36	7 4 例目	R2. 4. 11	6 0 代	(調査中)	男性	職員	
37	7 5 例目	R2. 4. 11	3 0 代	(調査中)	男性	職員	
38	7 6 例目	R2. 4. 11	5 0 代	(調査中)	女性	職員	
39	7 7 例目	R2. 4. 11	6 0 代	(調査中)	女性	職員	
40	7 8 例目	R2. 4. 11	6 0 代	(調査中)	女性	職員	
41	7 9 例目	R2. 4. 11	(調査中)	(調査中)	女性	職員	
42	8 8 例目	R2. 4. 12	8 0 代	伊勢崎市	女性	デイサービス利用者	

43	89 例目	R2. 4. 12	80 代	伊勢崎市	男性	施設入所者	
44	93 例目	R2. 4. 14	50 代	(調査中)	女性	(調査中)	
45	94 例目	R2. 4. 14	30 代	(調査中)	女性	(調査中)	

(7) I H I エアロスペース富岡事業所(富岡市関係)

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	43 例目	R2. 4. 10	40 代	富岡市	男性	会社員	
2	44 例目	R2. 4. 10	20 代	富岡市	男性	会社員	
3	45 例目	R2. 4. 11	60 代	富岡市	男性	会社員	
4	84 例目	R2. 4. 12	60 代	高崎市	男性	会社員	
5	85 例目	R2. 4. 12	40 代	富岡市	男性	会社員	
6	86 例目	R2. 4. 12	40 代	富岡市	男性	会社員	
7	91 例目	R2. 4. 14	60 代	(調査中)	女性	(調査中)	
8	92 例目	R2. 4. 14	40 代	(調査中)	男性	(調査中)	

(8) 県内患者及び濃厚接触者等

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	34 例目	R2. 4. 10	50 代	高崎市	女性	保育園調理員	
2	82 例目	R2. 4. 12	20 代	藤岡市	女性	主婦	34 例目の関係者 83 例目の母
3	83 例目	R2. 4. 12	10 歳未満	藤岡市	男性	小学生	34 例目の関係者 82 例目の子
4	35 例目	R2. 4. 10	50 代	高崎市	女性	無職	
5	80 例目	R2. 4. 12	50 代	高崎市	男性	自営業	35 例目の濃厚接触者
6	81 例目	R2. 4. 12	20 代	高崎市	男性	会社員	35 例目の濃厚接触者
7	42 例目	R2. 4. 10	50 代	伊勢崎市	女性	飲食店経営	
8	90 例目	R2. 4. 12	40 代	伊勢崎市	女性	飲食店従業員	42 例目の濃厚接触者

(9) 県外患者の濃厚接触者

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	24 例目	R2. 4. 3	30 代	前橋市	男性	会社員	
2	87 例目	R2. 4. 12	20 代	太田市	女性	無職	

(10) 県外在住の患者関係

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	28 例目	R2. 4. 7	20 代	東京都	女性	飲食店勤務	
2	29 例目	R2. 4. 7	未就学児	東京都	女性	無職	
3	33 例目	R2. 4. 9	60 代	館林市	女性	無職	

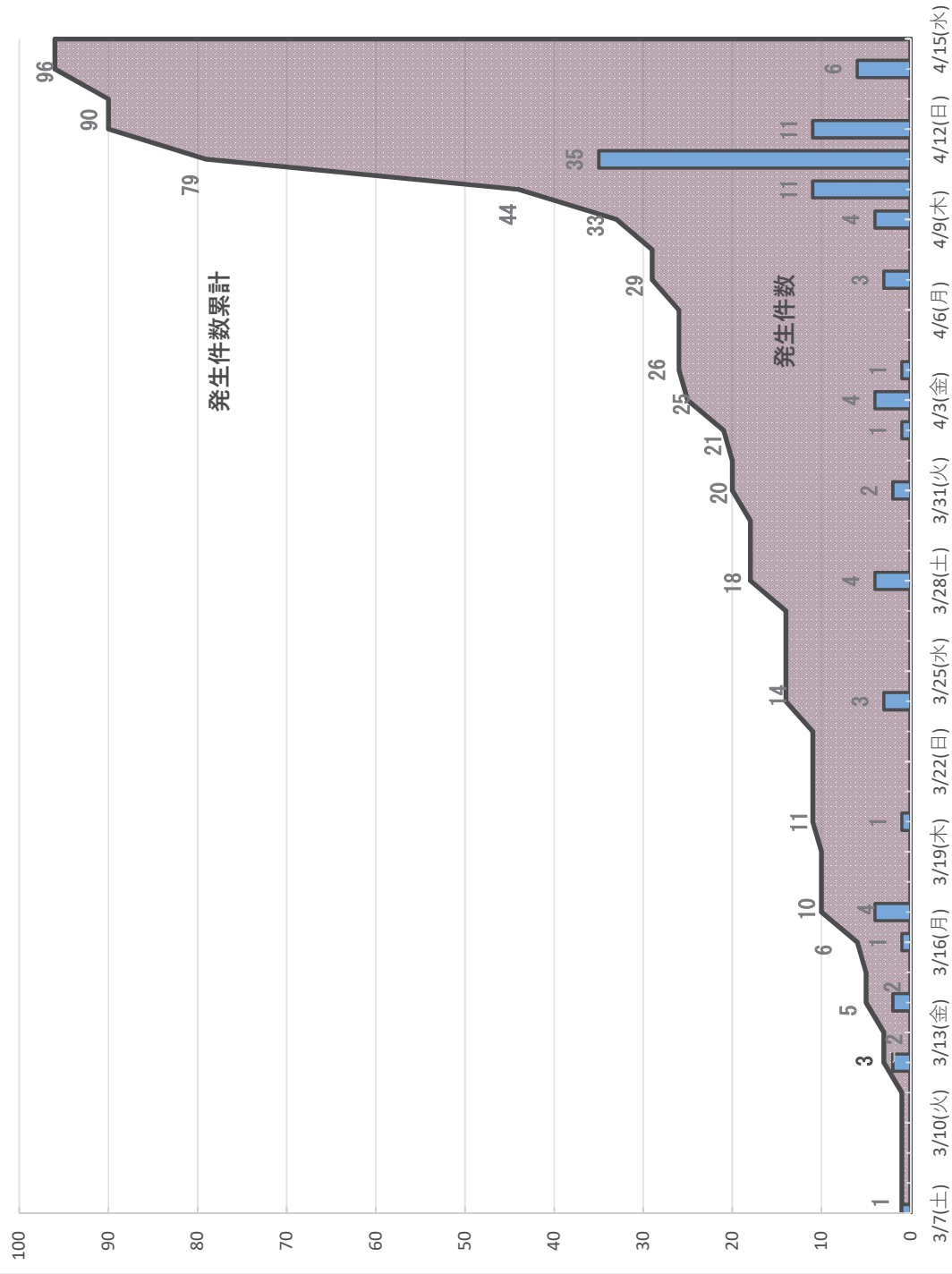
(11) 散発事例

		日付	年代	居住地	性別	職業	備考
1	13 例目	R2. 3. 24	60 代	高崎市	男性	自営業	
2	16 例目	R2. 3. 28	50 代	富岡市	女性	会社員	
3	20 例目	R2. 3. 31	30 代	前橋市	男性	サッカー選手	
4	46 例目	R2. 4. 11	30 代	安中市	男性	飲食店アルバイト	
5	95 例目	R2. 4. 14	50 代	(調査中)	女性	(調査中)	
6	96 例目	R2. 4. 14	(調査中)	(調査中)	男性	(調査中)	

2 帰国者・接触者相談センター対応状況(令和2年4月13日現在)

相談対応件数	県全体 累計 21,634 件(中核市含む)
--------	------------------------

新型コロナウイルス感染症患者発生状況



新型コロナウイルス感染症 流行シミュレーション作成事業 速報結果（2020年4月14日）

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

1

I 流行シミュレーション

- 感染症数理モデル（SEIRモデル）により，群馬県の新型コロナウイルス感染症の流行動態をシミュレーションした（Berkeley Madonnaを使用）。
- ウイルス特性は，初期の疫学調査で得られた知見をもとに以下の通り設定した。理論値に基づく値のため，現実では人の生活や活動により変動することに注意。

実効再生産数(R_t): 2.5, 2.0, 1.3, 1.0, 0.75, 0.5の各値

感染感受性あり人数(S): 群馬県民人口190万人

曝露者人数(E): 文献*に基づき感染者数の20倍

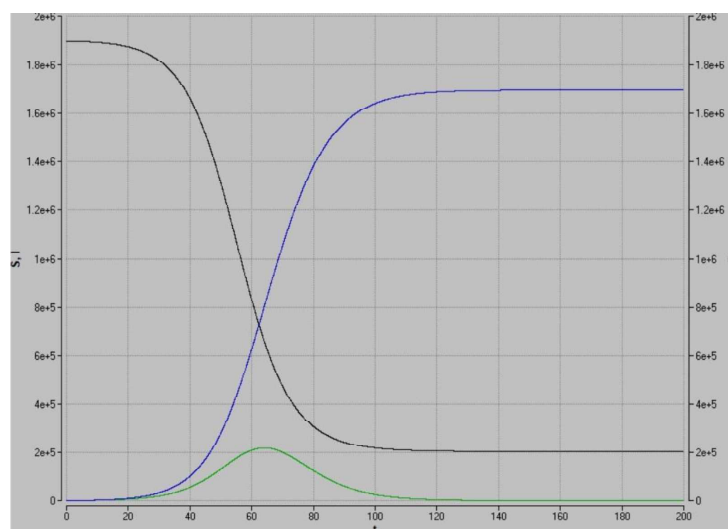
感染者数(I): 現在のPCR陽性者人数（4/13時点90人）

感染待ち時間: 潜伏期とみなして平均値の5日を使用

感染性期間: 発熱4日とPCRに要する1日を合計して5日

* Wan H, et al. Phase-adjusted estimation of the number of Coronavirus Disease 2019 cases in Wuhan, China. Cell Discovery. 2020² 6:10.

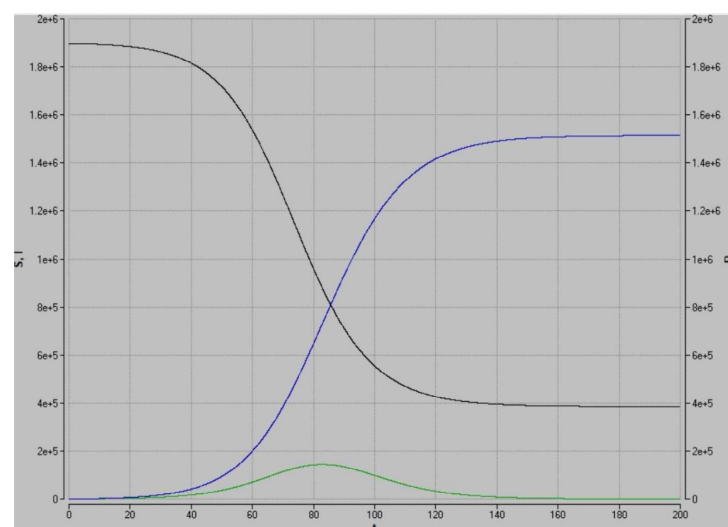
①施策を行わない場合



- 何も対策を取らない場合，再生産数は2.5で変化せず，8割以上の県民が感染する可能性がある。
- ピーク時の感染者数は約21万人，重篤者の割合を5%とすると，重篤患者数は約1万人に上る（目盛りに注意）。

3

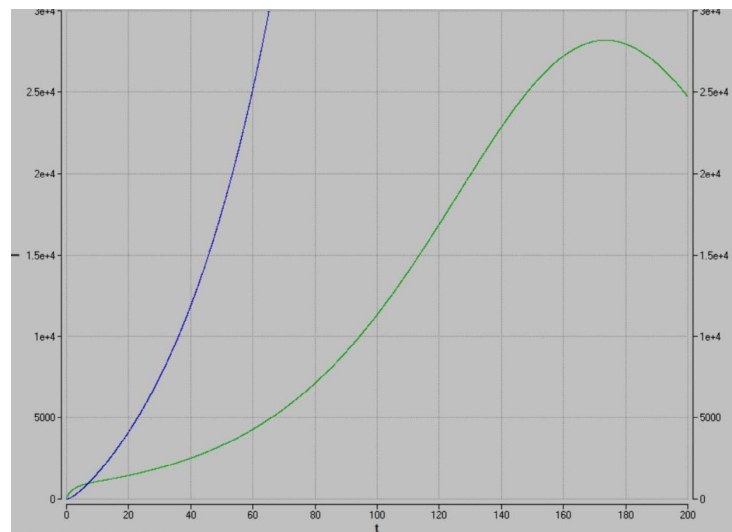
②接触が20%削減された場合



- 現在の休校措置や意識啓発で接触を20%削減した場合，再生産数は2.0とやや下がるが，流行は継続し，8割弱の県民が感染する可能性がある。
- ピーク時の感染者数は約15万人となり，重篤者の割合を5%とすると，重篤患者数は約7,500人になる。

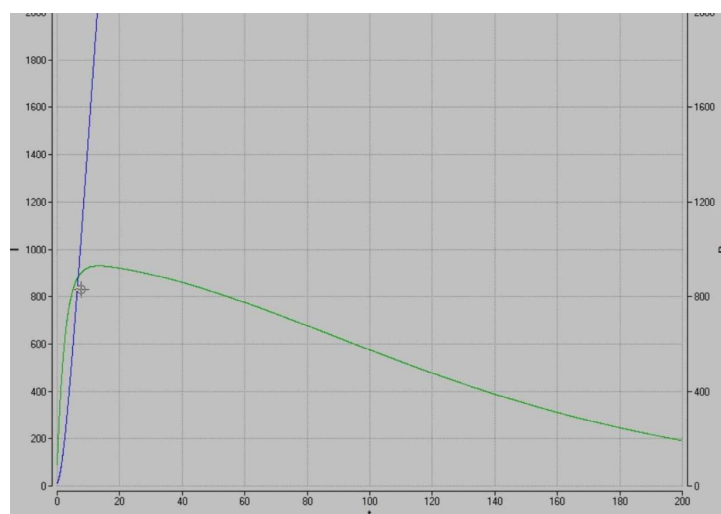
4

③接触を50%削減した場合



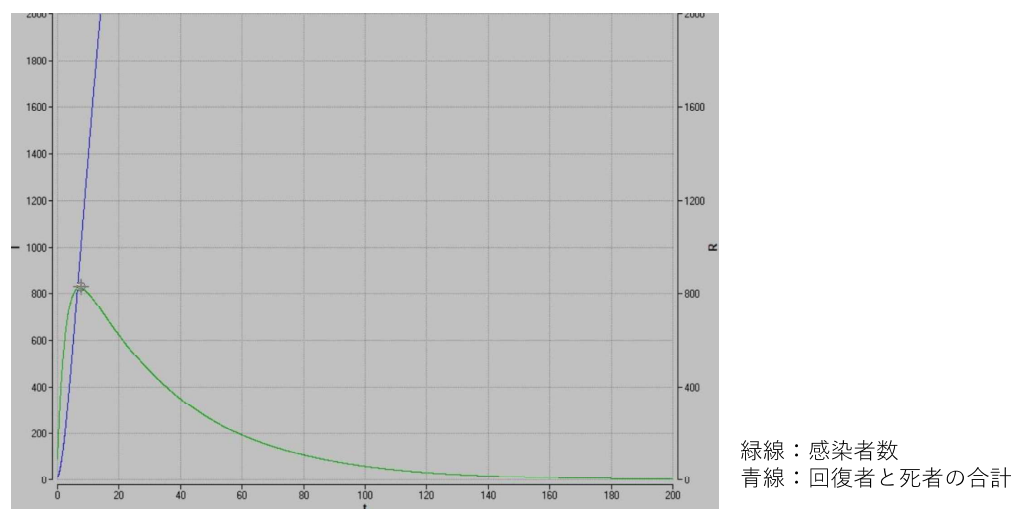
- 外出自粛やテレワーク等で接触を50%減らすと、再生産数は1.3に減少し、感染者数のピークは28,000人まで下がる。重症患者数はピーク時で1,400人になる。
- ピークを後にずらすため、医療機関の受け入れを整える若干の余裕や、医薬品の開発を待つ時間が生じる。 5

④接触を60%削減した場合



- 外出自粛やテレワーク等で接触を60%減らすと、再生産数は1.0丁度になり、感染者数のピークは900人余りまで激減する。重症患者数はピーク時で50人程になる。
- 流行は収束傾向を示すが、感染者の減り方はまだ遅く、長期間にわたり医療現場に負担をかけることになる。 6

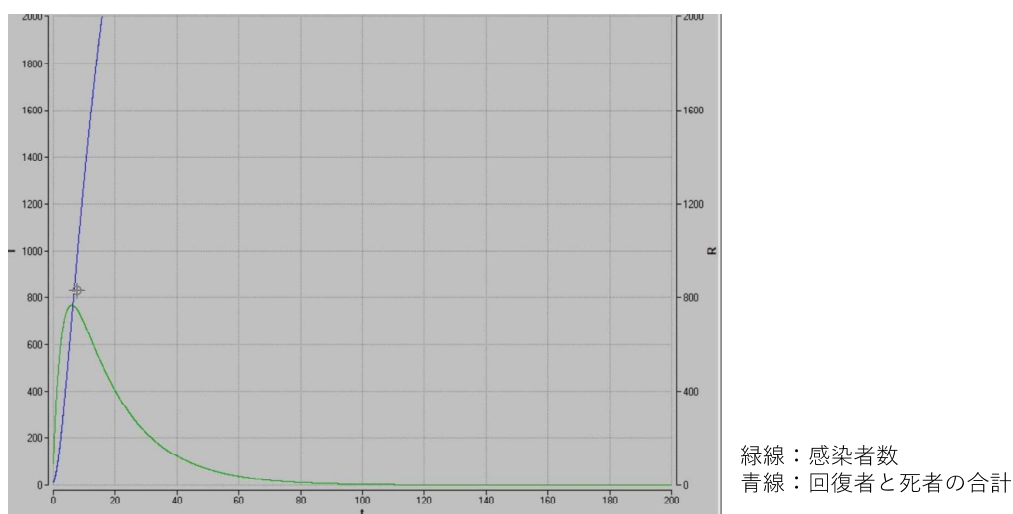
⑤接触を70%削減した場合



- 外出自粛やテレワーク等で接触を70%減らすと、再生産数は0.75になり、感染者数のピークは800人余りになる。重篤患者数はピーク時で40人強になる。
- 感染者のピークからの減少スピードも速く、現実的な社会活動ができる可能性が高まる。

7

⑥接触を80%削減した場合

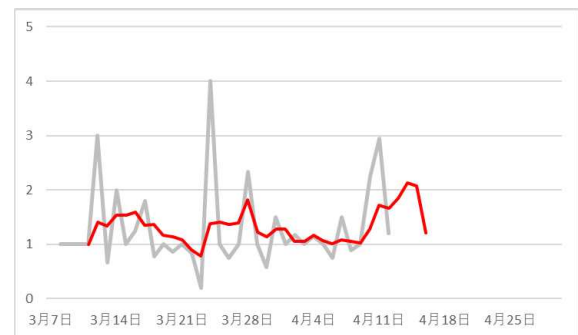
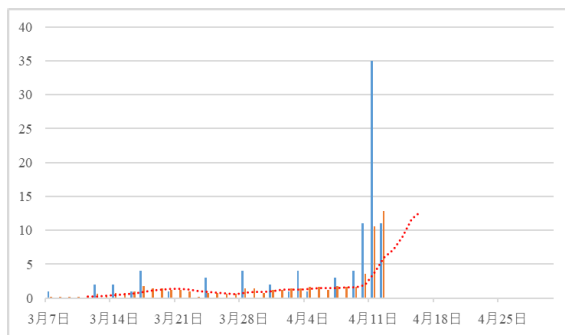


- 緊急事態宣言で示されている接触80%削減を行った場合、再生産数は0.5になり、群馬県の感染者数のピークは800人弱まで減少する。重篤者割合を5%とするとピーク時でも40人になる。
- 医療機関の病床の確保が容易になる。

8

Ⅱ リアルタイムデータに基づく流行の評価

- ・伊勢崎市のクラスターの発生により発症者数が一時的に増加した。またこれに伴い実効再生産数が瞬間的に3となった。
- ・しかし、市中感染の疑い例は多くなく、現在のところ首都圏同様の流行を認めるとはいえない。
- ・ただし、今後感染源が特定できないPCR陽性者の割合が増加した場合は流行が拡大する可能性もある。



公開情報（青）に基づき作成した流行曲線（赤） 実効再生産数（灰）とその移動平均値（赤）

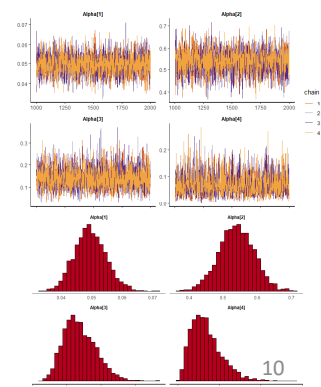
Ⅲ PCR検査結果予測

群馬県の検査実績に基づき、ベイズ推定（RStanを使用）により事後確率（今後の検査結果）を予測した。

- ・PCR検査で陽性が出る確率：5%（95%信用区間4-6%）
- ・陽性者の中で60歳以上の確率：54%（44-64%）
- ・60歳以上の陽性者のうち重症化する確率：14%（6-24%）
- ・60歳未満の陽性者のうち重症化する確率：7%（2-16%）

※推定のプロセスなどを図表で示す。

	mean	se	mean	sd	2.5%	25%	50%	75%	97.5%	n_eff	Rhat
Alpha[1]	0.05	0.00	0.01	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	3509	1
Alpha[2]	0.54	0.00	0.05	0.44	0.50	0.54	0.57	0.64	0.64	3555	1
Alpha[3]	0.14	0.00	0.05	0.06	0.10	0.13	0.17	0.24	0.24	3799	1
Alpha[4]	0.07	0.00	0.04	0.02	0.04	0.06	0.09	0.16	0.16	3055	1
lp__	-24.86	0.04	1.45	-28.55	-25.57	-24.55	-23.79	-23.08	-23.08	1483	1



まとめ

1. 数理モデルにより，群馬県における人の接触割合による流行の変化をシミュレートした。接触を**70－80%**削減すると流行は収束し，重篤者の病床は確保できる可能性がある。
2. リアルタイム評価による再生産数の推定により，現在群馬県では著しい流行が起きているとはいえない。しかし今後の感染者の報告により，この評価は変わる可能性もある。
3. 現在の群馬県の実績に基づき，今後の**PCR**検査陽性者の割合は**5%**前後であることが推測される。流行が抑制できている現在，引き続き同じ基準で検査を継続することが望ましい。

病院間調整センターを運営して

病院間調整センター 病院間調整 代表コーディネーター
群馬県 災害医療 コーディネーター
前橋赤十字病院 院長
中野 実

病院間調整センターを運営して

- I. **早急に**解決を要する問題点
- II. **今後**発生が予測される問題点

早急に解決を要する問題点

1. 病床確保不足

- ① β 病床の確保
- ② 軽症者収容施設制度
- ③ 軽症疑似症例の帰宅待機化

2. 搬送力不足

- ① 県内全消防機関相互協力による迅速な搬送体制

3. PCR検査結果判明時刻と夜勤帯の搬送

- ① 午前に結果判明となるPCR検査体制の変更
- ② 陽性結果患者の翌日入院の原則化

議論にあたっての病床に関する用語

感染症指定病床〔指定病床〕

α 病棟

1. 感染症指定病床以外の病床で、
2. 陰圧設備があったり、他の病床から物理的に隔離されている等の理由により
3. 当該病床に新型コロナウイルス感染症患者を入床させた場合にも
 - ① 当該病床以外の病床に、新型コロナウイルス感染症患者以外の患者を入床させるにあたって、大きな入床制限を必要としない
 - ② あたかも、感染症指定病床のごとくに利用できる病床

議論にあたっての病床に関する用語

β 病床

1. 感染症指定病床以外の病床で、
2. 当該病床に新型コロナウイルス感染症患者を入床させた場合には
 - ① ゾーニング (ウームゾーン確保等) の観点から
 - ② 当該病床以外の病床に、新型コロナウイルス感染症患者以外の患者を入床させるにあたって、大きな入床制限が発生するため
 - ③ **あたかも、感染症指定病床のごとくに利用できないが**
3. 新型コロナウイルス感染症患者が増加した場合には
 - ① 新型コロナウイルス感染症患者以外の患者に対して、大きな入床制限を発生させてでも
 - ② ウームゾーンを確保して、当該病床に新型コロナウイルス感染症患者を入床させて
 - ③ **あたかも、感染症指定病床のごとくに利用できる病床**

病床確保不足 対策提案 1

対策提案 1 受入病床を増やす

1. **感染症指定病院** に
 - ① 感染症指定病床 (分) の受入は強く要請
 - ② 「**感染症指定病床+α (病床)**」外の (一般) **病床 (= β 病床) での受入を要請**
2. 感染症指定病院以外の医療施設 に
 - ① β 病床での受入を要請
 - ② まずは、二次医療機関、公立・公的病院からか

病床確保不足 対策提案 2

対策提案 2 対象患者を減らす

1. 軽症者収容施設(避難所類似)制度の開始

① 健康観察の仕組みが必要

- A) JMAT
- B) 県・市町村等保健師
- C) 看護協会

② 施設の確保

③ 施設(自宅)への収容ルール作成

- A) 既入院加療者 入院勧告の解除のルール
- B) 施設入所者 施設への搬送のルール
- 自家用車駐車場確保

病床確保不足 対策提案 3

対策提案 3 不適切な使用を減らす

1. 軽症疑似症例の帰宅待機化の徹底

2. 疑似症例入院専門病院の設置？

搬送力不足

現状

受入先病院が確保できても搬送手段がない
搬送のためにDMATを要請

対策提案

1. 県内全消防機関相互協力による迅速な搬送体制の確立

① 緊急援助隊 類似の体制

⇐ 制度構築は消防長会にお任せしますが

PCR検査結果判明時刻と夜勤帯の搬送

現状

1. 入院時間が夜勤帯となり、現実的な受入
病床数の減少を招いている

対策提案

1. 午前に結果判明となるPCR検査体制の変更

2. 陽性結果患者の翌日入院の原則化

① 待機困難陽性結果患者は夜勤帯搬送

今後発生が予測される問題点

1. 重症病床(人工呼吸器管理実施可能)の不足

対策 重症病床適応の β 病床の確保

2. 超重症病床(ECMO実施可能)の不足

対策 超重症病床適応の β 病床の確保

⇒ 命の選別実施の現実味

3. 中等症病床の不足

対策 減床してでも中等症病床への転換を

問題点発生 of 早期発見のために

群馬県内のデータベースの作成・共有化

⇒ 雛形は作成済

1. 10ヶ対応病床 使用状況 一覧

2. 入院患者(+待機患者) 病状 一覧

実現への問題点

1. 共有化する医療施設の範囲は？

⇒ 患者受入医療施設、行政(保健所)

2. データの収集・入力を誰がするか？

⇒ 患者受入医療施設か

まとめ (すべき事)

1. β 病床の確保
2. 軽症者収容施設制度
3. 県内全消防機関相互協力による迅速な搬送体制
4. 陽性結果患者の翌日入院の原則化
5. 「 γ 対応病床使用状況一覧」「入院患者 (+ 待機患者) 病状一覧」の作成 & 共有化

今後の医療提供体制等について

令和 2 年 4 月 15 日 医務課

1 病床確保の状況

- ・ 現在、指定医療機関の感染症病床 52 床で入院患者を受入れ。
- ・ 感染拡大に向けて、現状の体制で、各指定医療機関の一般病床と合わせて、200 床程度を確保済みであるが、感染制御を徹底するためのベットコントロールや施設整備等の終了を経て、4 月 23 日までに 184 床の運用開始を目指す。
- ・ さらに、指定医療機関以外の医療機関にも病床確保の要請を開始。
- ・ また、高齢者や基礎疾患を有する者など以外の感染者で軽症者・無症状者を宿泊施設等へ移行するための厚生労働省との相談協議は 4 月 12 日（日）に終了。

2 帰国者・接触者外来の増設

- ・ 指定医療機関を含め既設 18 か所（1 か所増）。設置目標 30 か所
- ・ 特に入院医療を担う指定医療機関では帰国者・接触者外来の両立は困難
- ・ 疑い患者増加に伴う負担増を軽減するため、さらに増設を進める。
- ・ 群馬県病院協会でも設置会員を募っている。

3 発熱外来の設置

- ・ 郡市医師会長会議において、県医師会から発熱外来の設置の検討を依頼
- ・ 県として、県医師会の取組と連携するため、各郡市医師会長を訪問し、取組状況の確認と意見交換を実施中
- ・ 設置目標 12 か所以上（高崎地区、渋川地区で開設済。富岡地区、安中地区で準備中）
- ・ 群馬県病院協会でも設置会員を募っている。

4 病院間調整センター（都道府県調整本部）の稼働（4 月 9 日（木））

- ・ 限られた医療資源を有効に活用するため、重症度や患者・疾病特性に応じた入院時の振り分け、転院搬送等の調整機能を担う病院間調整センターを、4 月 9 日（木）から稼働

新型コロナウイルス軽症者等の宿泊療養について

R2.4.15 保健予防課

1 目的

新型コロナウイルス感染拡大や重症患者の増加に備え、無症状者や軽症者のうち、医師が必ずしも入院が必要な状態ではないと判断した方について、病院外で宿泊療養するための施設を確保するもの。

2 取組状況

- ・令和2年4月8日（水）～4月13日（月）までの間、宿泊施設を公募
- ・申込状況 7 宿泊施設（合計523室）
- ・現在、複数施設の状況を確認した上で、使用条件などを調整中

3 医療スタッフの協力依頼

- ・県医師会による JMAT 派遣準備
- ・各市町村長に対する保健師派遣照会
- ・各医療機関に対する看護師派遣照会
- ・各看護大学に対する保健師・看護師派遣照会
- ・看護協会からナースセンター登録者に対する協力依頼